

1.鳥取県の歴史や文化をしらべる



『ポプラディアプラス日本の地理5』
(ポプラ社 2020)
Y291/トツ (2階ふるさと子どもコーナー)

第5巻は「中国・四国地方」が収められています。鳥取県は40pに掲載。地形と気候、歴史や産業、伝統工芸、祭りなど、コンパクトにまとめられています。(★)

『鳥取の歴史ものがたり』
(鳥取県小学校社会科教育研究会/編 1983)
Y200/トツ (2階ふるさと子どもコーナー)

古代から昭和までの鳥取県の主な歴史、出来事について書かれた読み物資料です。巻末に鳥取県の歴史人名辞典、歴史上のおもな史跡と文化財、鳥取県の歴史年表あり。(★)

『わたしたちの鳥取県5・6年生』
(鳥取県小学校教育研究会社会部/編 1996)
Y375/T2-2 (2階鳥取県コーナー)

鳥取県の生活にかかわる食料・工業・運輸・情報・国土・歴史についてわかりやすく紹介しています。歴史年表つき。平成8年に発行されたもので、「情報」のページなどは古い内容もありますが、歴史を知るには良い一冊です。(★)

『おはなし歴史風土記31 鳥取県』
(歴史教育者協議会/編 1984)
0920/R3 (2階鳥取県コーナー)

有名な歴史や人物が書かれていません。鳥取県で生きてきた村や町の人々の生活、風土、歴史が、ゆたかなおはなしとなって語られています。歴史年表つき。(★)

『鳥取県ができるまで』
(鳥取県立公文書館/編 2017)
Y200トツ (2階ふるさと子どもコーナー)

明治4年の廃藩置県から、明治14年までの鳥取県ができるまでの様子をわかりやすく紹介したリーフレットです。(★)

『ふるさと歴史めぐり 中学生版鳥取県史』
(鳥取県教育委員会/編 2002)
Y20/T11-3 (2階ふるさと子どもコーナー)

縄文時代から現代までの鳥取県の歴史に關係する出来事を中心にテーマごとに書かれた資料です。主な人物や、社会の動きについて書かれています。歴史年表つき。(★★)

『人づくり風土記 江戸時代31鳥取』
(農山漁村文化協会/編 1994)
Y20/N10 (2階鳥取県コーナー)

江戸時代の鳥取県内の自治・生業・教育・家庭・人物についてくわしく書かれています。たたら製鉄、牛馬市、米川開削など掲載。巻末に歴史年表、江戸時代の鳥取県の物産一覧、索引つき。(★★)

『鳥取県文化観光事典』
(鳥取県文化観光局文化振興課/編2002)
Y29/T3/6 (2階鳥取県コーナー)

鳥取県の歴史・自然・風土・慣習・交通の解説を掲載。それに続き、東部・中部・西部市町村ごとに史跡や自然、施設、人物などを紹介しています。巻末に文化財、郷土芸能、自然公園などの一覧あり。(★★)

『郷土資料事典31 鳥取県』
(人文社/編 1998)
Y29/J1-3 (2階鳥取県コーナー)

原始から明治までの簡単な鳥取県の沿革、東部・中部・西部ごとに史跡や自然、主な施設を紹介しています。(★★)

『鳥取県謎解き散歩』
(日置桑左衛門/編著 新人物往来社2013)
Y291/ヒオ (2階鳥取県コーナー)

鳥取県のことをギュッとコンパクトにまとめた1冊です。鳥取県のマンガやグルメ、歴史、民俗、自然など、鳥取県の魅力が分かりやすく紹介されています。(★★)

『鳥取県の歴史』
(内藤正中ほか/著 2015)
Y20/N12 (2階鳥取県コーナー)

鳥取県の古代から昭和までの歴史が文章を中心にくわしく書かれています。歴史年表、祭礼、行事、市町村の沿革表つき。(★★★)

『鳥取県の歴史散歩』
(鳥取県の歴史散歩編集委員会/編 2012)
Y291/Tツ (2階鳥取県コーナー)

鳥取県内の史跡、歴史、人物が地域ごとにカラーで見やすく網羅されています。巻末に歴史年表と索引つき。(★★★)

『鳥取県まるごと読本』
(今井出版 2011)
Y291/Tツ (2階鳥取県コーナー)

「患む」「育む」「創る」「興す」「歩む」の5つの章立てで、現在の鳥取県をまるごと紹介しています。写真も豊富です。巻末に歴史年表と近代以降の主な人物紹介あり。(★★★)

『鳥取県大百科事典』
(新日本海新聞社 1984)
Y03/T1 (2階鳥取県コーナー)

鳥取県の百科事典です。鳥取県に關係する歴史、場所、人物など、あいうえお順で検索できます。(★★★)

『鳥取県史』
(鳥取県 1967～)
Y092.0/T4 (2階鳥取県コーナー)

原始編からはじまり、現代までの歴史を網羅した郷土資料です。県内の古文書などの資料も豊富に収録されています。現在は『新鳥取県史』を継続刊行中。(★★★)

2.米子の歴史や史跡をしらべる



『よなごのふるさと散歩 改訂版』
(米子市立山陰歴史館運営委員会/編 2012)
Y224/ヨナ (2階ふるさと子どもコーナー)

米子の各地域の歴史的建造物、施設、遺跡などを解説した1冊です。ふりがなつきで読みやすいです。(★)

『米子の歴史』
(米子市教育委員会/編 2017)
Y224ヨナ (2階ふるさと子どもコーナー)

旧米子市と旧淀江町が合併した翌年の2006年に発行され、2017年に改訂版が発行されました。原始から平成までの米子の歴史や文化の流れが分かりやすく書かれています。巻末に米子の年表あり。(★)

『米子の歴史散歩 第1集・第2集』
(米子市立山陰歴史館運営委員会/編 1976)
Y224/Y2-5 (2階米子市コーナー)

米子市内の各地域ごとに、史跡とその歴史を紹介しています。(★)

『新修米子市史』
(米子市 2010)
Y224/ヨナ (2階米子市コーナー)

第15巻に古代～現代までの米子歴史年表あり。(★★)

『米子ぶらり歴史散歩』
(船越元四郎/著 2006)
Y224/ヨナ (2階米子市コーナー)

『よなごのふるさと散歩』を監修した船越先生の本です。米子中心部の小路も掲載されています。(★★)

『米子の歴史と人物』
(榎 範之/著 1982)
Y281/Y18 (2階米子市コーナー)

近世から昭和までの人物と、その人物が活躍した歴史を写真を交えながら文章を中心にまとめられています。巻末に米子の歴史と人物略年表あり。(★★)

『決定版米子・境港・西伯・日野』

ふるさと大百科』

(杉本良巳/監修 2008)

Y220/ケツ (2階米子市コーナー)

自然、歴史文化財、交通、産業、民俗、文化と網羅された大百科です。旧市町村別概況と索引つきです。写真も豊富です。(★★)

『市民が選んだよなごの宝八十八』

(よなごの宝88選実行委員会 2012)

Y709シミ (2階米子市コーナー)

2007年に有志が集まり、米子の宝を選ぶ実行委員会が立ち上がりました。米子の米にちなみ、八十八の市内の宝のような景色、場所、建築、石仏などを収集、紹介されています。米子のガイドブックとしても楽しめる読み応えのある一冊です。読むと米子をもっと好きになるかも！(★★)

『米子の文化財』

(米子市教育委員会 2017)

Y709ヨナ (2階ふるさと子どもコーナー)

旧淀江町と旧米子市が合併した翌年に発行され(2006年)、2017年に改訂版が発行されました。2017年3月までの国、県、市の指定文化財が掲載されています。ふりがな付です。(★)

『改訂米子の伝承と歴史』

(生田弥範/著 1982)

Y224/イク (2階米子市コーナー)

米子の各地域の歴史や建造物、そこにまつわる伝説や人物などがまとめられています。こんな歴史があったのかと、思わず夢中になって読んでしまう1冊です。(★★★)

『米子商業史』

(米子商工会議所米子商業史編纂特別委員会/編 1990)

Y670/Y3-9 (2階米子市コーナー)

江戸時代から昭和までの市内各町の変遷がわかります。くわしい年表つき。(★★★)

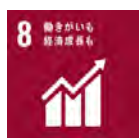
『西伯耆歴史年表』

(杉本良巳ほか/編著 1986)

092.203/S-1 (2階米子市コーナー)

旧石器時代から1985年までの西部の歴史年表が掲載されています。(★★★)

3. 県市町村の統計を しらべる



『データで探そう！鳥取県』

(鳥取県令和新时代創造本部統計課 2020)

Y361データ (2階ふるさとこどもコーナー)

鳥取県の生産物で、全国第1位のもの？ 統計データから読み取った、鳥取県の豊かな食材や人口などが分かりやすく紹介されています。毎年鳥取県より発行されているので、比較してみるのもおもしろいですね。(★)

『データでみる県勢』

(矢野恒太記念会 2019)

R351データ (2階べりな辞典コーナー)

都道府県ごとに人口や面積、生産物など、主な統計データが掲載されています。第3部には市町村の統計データも掲載あり。毎年発行されています。(★★)

『全国市町村要覧』

(市町村要覧編集委員会/編 第一法規 2019)

R318シチ (2階べりな辞典コーナー)

全国の市町村ごとに、世帯数、面積、人口、市町村長名などのデータがくわしく掲載されています。巻末には都道府県の木、花、鳥、魚、獣の名前あり。都道府県ごとのページには県章の由来もあり。こちらも毎年発行されています。(★★)

『鳥取県統計年鑑』

(鳥取県 2020)

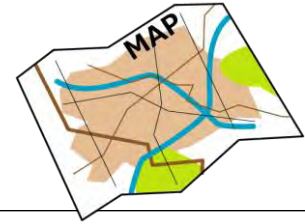
Y350ツツ (2階郷土コーナー)

鳥取県の気象や人口、観光、物価など、さまざまなジャンルの統計データがくわしく掲載されています。(★★★)

『日本統計年鑑』
(日本統計協会 毎日新聞出版 2019)
R351ニホ(2階べんりな辞典コーナー)

日本の国土、人口、経済、社会、文化、災害など、様々な分野の統計が掲載されています。(★★★)

4.郷土の地図をしらべる



『ゼンリン住宅地図』
(ゼンリン 2020)
Y290.3ゼン(2階カウンター)

ゼンリンという会社が作成した住宅地図です。各地域の家の住所が表示されています。米子市立図書館には、鳥取県全域と、島根県安来市、松江市、出雲市(島根県東部～中東部)までの住宅地図があります。米子市の住宅地図は、昭和35年に発行された『米子市詳細図典』(都市商工調査所)という住宅地図が一番古く、次いで昭和38年にゼンリンから『米子市・安来市』が発行されています。複写をする場合は、見開き半分までが複写範囲となります。(★★)

『島根・鳥取ふるさと万能地図』
(山陰中央新報社 2018)
Y291サン(2階郷土コーナー)

島根県・鳥取県それぞれ19市町村が掲載された、べんりな道路地図です。全図と市街図のほか、市内詳細図には、6千分の1の縮尺で主な建物の名前も掲載されています。(★★)

『鳥取県歴史の道調査報告書』
(鳥取県文化財保存協会1990～1991)
Y291ツツ(2階郷土コーナー)

鳥取県の古い沿道、往来などをくわしく調査した報告書です。山陰の道の歴史、古道を知るためのとても貴重な資料です。山陰道、大山道、出雲街道など、第10集までシリーズがあります。島根県版もあります。(★★★)

『新修米子市史 資料編 絵図・地図』
第12巻
(米子市 2004)
Y224/Y19(2階米子市コーナー)

歴史館や博物館に保存されている、米子周辺の江戸時代の村絵図や、地形図が時系列で掲載されています。米子の古い絵図や地図を見るならまずはこの一冊です。(★★★)

『国土地理院 米子市地形図』5万分の1、2万5千分の1
(国土地理院 1915～)
Y291コク(2階郷土コーナー)

国土地理院が発行する地形図です。米子市は5万分の1、2万5千分の1の図歴地形図があります。年代ごとに地形の変遷をたどれます。国土地理院の地形図は、全面複写が可能です。(★★)

5.米子城をしらべる



『海に臨む天空の城鳥取県米子市観光ガイド』
(米子市観光課 2019)
Y224/Uミ (2階米子城コーナー)

米子城をはじめ、米子の見どころ満載の観光ガイドです。米子城の歴史と、「もっと知りたい!米子城」のコンテンツを見ることができるQRコードがついています。(★★)

『よみがえる日本の城6』
(学研 2004)
Y52/A4 (2階米子城コーナー)

米子城復元CG、城の歴史、城の構成、大小天守の紹介が掲載されています。CG写真は圧巻です。(★★)

『週刊日本の城23』
(ディアゴスティーニ・ジャパン 2013)
Y224/シュ (2階米子城コーナー)

「米子城異形の大小天守」というタイトルで巻頭特集に掲載されています。CGで復元された天守や復元図もあり、見ごたえがあります。(★★)

『週刊日本の城48』
(ディアゴスティーニ・ジャパン 2013)
Y224/シュ (2階米子城コーナー)

「ありし日の米子城」と題し米子城の復元CG、「米子城を歩く」と題し米子城周辺の航空写真と米子城関連の歴史的建造物が紹介されています。(★★)

『新修米子市史 近世通史編』第3巻
(米子市 2004)
Y224/Y19 (2階米子市コーナー)

7P～第一編「近世米子の政治・経済・社会」(★★)

『米子城跡ガイドマップ』
(米子市教育委員会文化課 2018)
Y224/Yナ (2階米子城コーナー)

米子城の歴史や構造、城下町など、コンパクトにまとめられた冊子です。(★★)

『山陰歴史館ブックレット』1-8巻
(船越元四郎, 山陰歴史館 1994-1998)
Y224/S9 (2階米子城コーナー)

山陰歴史館が発行する15cm×10cmの米子城ブックレットシリーズです。文章を中心に、米子城についてわかりやすく解説されています。(★★)

- 『米子城歴代城主』①
- 『米子城にまつわる民話』②
- 『米子城の家臣団』③
- 『米子城の城下町と生活』④
- 『錦公園と米子港の歴史』⑤
- 『米子城山の植物について』⑥
- 『米子城主加藤貞泰とその家臣団Ⅰ』⑦
- 『米子城主加藤貞泰とその家臣団Ⅱ』⑧

『城山大師・八十八か所石仏めぐり
ガイドマップ』
(城山大師維持奉仕会 2017)
Y224/シロ (2階米子城コーナー)

大正時代に創始された城山周辺にある石仏が紹介されています。マップつき。数少ない城山大師の貴重な資料となっています。(★★)

『江戸時代の人々の暮らし
～米子城その歴史をさぐる』
(米子市立山陰歴史館 2012)
Y224/エド (2階米子城コーナー)

平成24年に米子市立山陰歴史館で開催された企画展の図録です。米子城の成り立ち、関連年表、歴史、武家屋敷発掘調査報告、米子の商家、在方(町以外)の暮らしなど、江戸時代の米子にまつわる暮らしについて解説された1冊です。(★★)

ふくくぼくほうきよなごじょう
『復刻伯耆米子城』
(佐々木謙/著 立花善院 2021)
Y224ササ(2階米子城コーナー)

ほうきよなごじょう ふくくぼん よなごじょう れきし じんぶつ よなごじょうほうえい であ
『伯耆米子城』の復刻版です。米子城の歴史、人物、米子城防衛の寺な
どが掲載されています。(★★★)

よなごじょう えすめん よなごじょうしりょう
『米子城絵図面 米子城資料』
第1集、第2集

(米子市立山陰歴史館 2001, 2018)
Y52/Y4/1, Y521ヨナ(2階米子城コーナー)

よなごじょう ねたものず んかんず けいさい かんまつ よなごじょうねんびょう
米子城の建物図、俯瞰図が掲載されています。巻末に米子城年表あり。
(★★★)

さんいん しろう
『山陰の城』

(相賀徹夫 1981)
Y095.2/03(2階米子城コーナー)

よなごじょう 144P~155Pに掲載。その歴史、構造などが分かりやす
くコンパクトに紹介されています。(★★★)

にほんじょうかくたいけい
『日本城郭体系14』

(新人物往来社 1980)
Y095.2/N2(2階米子城コーナー)

よなごじょう 123P~126Pに掲載。米子城のほか、尾高城など県内の城も
掲載されています。(★★★)

6.米子市内各地域の 歴史について



よどえちやうし
『淀江町誌』

(淀江町 1985)
Y223/Y7(2階米子市コーナー)

淀江通史、地誌、社会産業経済、教育、民俗、軍事、宗教、信仰、集
落、湊湾、年表、淀江小唄、淀江にかんする古文書資料を網羅していま
す。(★★★)

よどえ ふうどき
『淀江風土記』

(淀江町 1989)
Y223/Y7-2(2階米子市コーナー)

町制施行の100周年記念誌。原始・古代から現代までの通史、100周
年を迎えた淀江町の行政、人物、特産、文化財などが記載されていま
す。(★★★)

よどえちやうがっぺい ねんきねんし ねんちしん
『淀江町合併50年記念誌 温故知新』

(淀江町役場 2004)
Y318ヨド(2階郷土コーナー)

新淀江町が誕生した1955年(昭和30年)~2004年(平成16年)ま
での年表が掲載されています。50年間の土地・人口推移、財政などの統
計も掲載。(★★★)

よどえちやうないれきしさんぽ (1巻~3巻)
『淀江町内歴史散歩』

(淀江中央公民館 1984)
Y092.23/Y4(2階郷土コーナー)

淀江町内の歴史、民俗、人物が掲載されています。「広報よどえ」に
掲載された文化財や歴史的建造物なども紹介されています。(★★★)

ふくいけむら れきしてんびょう
『福生村の歴史点描』

(八幡淳/著 1997)
Y224/Y20(2階米子市コーナー)

八幡淳さんがまとめた福生村の歴史、宗教、行事を紹介した1冊です。
巻末に八幡さん制作「皆生・上福原小字図」あり。(★★★)

ふくいけ あゆ
『ふるさと福生の歩み』

(福生地区記念誌作成実行委員会 2011)
Y224/フク(2階米子市コーナー)

福生の自然、歴史、民俗、生業、皆生温泉、戦中戦後、産業、現代の文
化までを網羅した1冊です。巻末に福生地区の歴史年表あり。(★★★)

『皆生今昔』

(皆生温泉街づくり推進協議会 1981)
Y224/S6 (2階米子市コーナー)

皆生温泉の開発、皆生競馬、チンチン電車などが紹介された皆生温泉の沿革史資料です。(★★★)

『海に湯が沸く一世紀』

皆生温泉開湯100年祭記念誌』
(皆生温泉開湯100年記念実行委員会 2001)
Y224/K13 (2階米子市コーナー)

皆生温泉の100年をわかりやすい歴史年表で見ることができます。写真も多数掲載。(★★★)

『ふるさと福米のあゆみ』

(ふるさと福米のあゆみ刊行実行委員会 1990)
Y092.21/F4 (2階米子市コーナー)

福米の神話から始まり、歴史、皆生電車、行政、産業、民俗、戦争、教育、人物について掲載されています。(★★★)

『新修大篠津郷土史』

(大篠津郷土史作成委員会 2001)
Y224/H1-2 (2階米子市コーナー)

大篠津の自然、なりたち、行政、自治連合、産業、経済、交通、通信、社会福祉、文化、宗教、教育、民俗、方言、美保基地、戦争について掲載されています。(★★★)

『弓浜半島と夜見村』

(森納 著 1977)
Y224/M1-2 (2階米子市コーナー)

夜見村の歴史、産業、風俗、人物、民俗などについて掲載。弓ヶ浜の歴史年表あり。(★★★)

『富益300年誌』

(富益300年誌作成委員会 2010)
Y224/Tミ (2階米子市コーナー)

富益地区の自然、歴史、行政、自治、産業経済、交通通信、福祉、文化、宗教、教育、民俗、戦争について、図表と詳しい文章でまとめられた1冊です。巻末に富益歴史年表あり。(★★★)

『ふるさと加茂のあゆみ』

(ふるさと加茂のあゆみ刊行実行委員会 1988)
Y092.24/F3 (2階米子市コーナー)

加茂の由来、自然、歴史、近世の様子、民俗、文化、近代～現代までの加茂について掲載されています。(★★★)

『かわさき』

河崎校区創立二十周年記念誌』
(河崎校区創立二十周年事業実行委員会 1990)
Y224/K10 (2階米子市コーナー)

米川、綿作、白ネギ、葉タバコなどを中心に、河崎校区の歴史や産業がまとめられています。(★★★)

『和田郷土史』

(和田郷土を語る会 1989)
Y092.24/W1 (2階米子市コーナー)

和田の自然、沿革、宗教、政治、教育、産業、農業、交通、人物について図表とくわしい文章でまとめられた1冊です。(★★★)

『尚徳村史』

(尚徳村史刊行委員会 1997)
Y224/S10 (2階米子市コーナー)

尚徳の自然環境、現代までの歴史、法勝寺川の水害、産業、民俗、軍事について掲載されています。(★★★)

『尚徳の歴史と文化財』

(米子市尚徳公民館 1999)
Y224/Y24 (2階米子市コーナー)

尚徳校区内の史跡や文化財を、写真と文章で村ごとに紹介してあります。村の旧地名も掲載あり。(★★★)

『ごせんごくさいはっけん』
(米子市立五千石小学校P T A 2003)
・(2階ふるさと子どもコーナー)

壇子内親王・後醍醐天皇にまつわるお寺、神社が掲載されています。
ほかにも、五千石の歴史、地理などがとても詳しくのっています。
(★)

『五千石風土記(復刻版)』
前編・後編・続編
(生田弥範著 2018)
Y224/イク(2階米子市コーナー)

昭和37年と44年に出版された本の復刻版として3冊刊行されました。
五千石の地名、電設、佐野川、白野川、法勝寺川、各部落について、
文章によって詳しくまとめられています。前編は総括編、後編は部落編、
続編は佐野川井手、部落、信仰、年中行事などがまとめられています。
(★★★)

『記念誌ふる里』
(いわおを語り継ぐ会 1997)
Y224/13(2階米子市コーナー)

巖地区の歴史、村名の由来、文化などをまとめた1冊です。(★★★)

7.人物について



『ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集』
(小学校1~4年生用、5年生~中学校用)
(米子市教育委員会 2015)
Y224/7ル(2階ふるさと子どもコーナー)

米子市の人物とその人物にかかわる米子の歴史が紹介された本です。
小学1~4年生用、5年生~中学生用の2冊があります。(★)

『鳥取県子どものための伝記』
(鳥取県小学校国語教育研究会 1986)
Y092.8/T7(2階ふるさと子どもコーナー)

1巻…横綱琴枝・生田春月・澤田廉三
2巻…岡野貞一・日置黙仙・峰地光重
3巻…山崎秀子・田熊常吉・内藤岩雄 (★)

『ごせんごくさいはっけん』
(米子市立五千石小学校P T A 2003)
Y29/Y28-2(2階ふるさと子どもコーナー)

壇子内親王・後醍醐天皇にまつわるお寺、神社が掲載されています。
ほかにも、五千石の歴史、地理などがとても詳しくのっています。
(★)

『みんなで生きるために』
(岩村昇著 日本ネパール人づくり協会 2021)
・Y916(2階郷土コーナー)

鳥取大学医学部からネパールに渡り、現地で結核などのさまざまな感染症から多くのひとをすくった岩村昇さんの本です。パジャワールに派遣され、2019年に銃撃で亡くなった中村哲さんにも大きな影響を与えたひとです。(★★)

『中江藤樹』
(もろひとめぐみ/著 2000)
Y289/N6-7(2階ふるさと子どもコーナー)

中江藤樹がどのような人物であったのか、やさしい物語で書かれた本です。
巻末に中江藤樹の年表あり。(★)

『日本の偉人物語⑤中江藤樹 高杉晋作 明治天皇』
(岡田幹彦著 光明思想社 2020)
Y281ナカ(2階ふるさと子どもコーナー)

日本的儒教をうち立てた第一人者として、中江藤樹の物語が掲載されています。
9歳で米子にやってきた藤樹が、その後儒学者となるまでが分かりやすく書かれています。全文ふり仮名付で読みやすい一冊です。
(★)

『近代史を飾った鳥取県西部人物伝』

(杉本良巳 2010)

Y281/スギ (2階郷土コーナー)

鳥取県西部で活躍した人物が各1ページごとに紹介されています。巻末に人物名索引あり (★★)

『鳥取県郷土が誇る人物誌』

(鳥取県教育委員会 1990)

Y281/T2-2 (2階郷土コーナー)

鳥取県出身で、地域内外において、政治、経済、社会、文化など各方面で活躍した人物150人の業績が紹介されています。巻末に索引、人物関係市町村別一覧あり。(★★)

『鳥取県人物伝』

(新日本海新聞社 1998)

Y281/S14-2 (2階ふるさと子どもコーナー)

「20世紀を支えたふるさと先人群」という副題で、明治～平成を駆け抜けた鳥取県出身の多方面で活躍した人物を紹介しています。続編とあわせて2冊刊行されています。(★★)

『米子の歴史と人物』

(樫 範之 1982)

Y281/Y18 (2階郷土コーナー)

近世から昭和までの人物と、その人物が活躍した歴史を写真を交えながら文章を中心にまとめられています。米子の代表的な人物がわかります。巻末に米子の歴史と人物略年表あり。(★★★)

『鳥取県大百科事典』

(新日本海新聞社 1984)

Y03/T1 (2階鳥取県コーナー)

鳥取県の百科事典です。鳥取県に関する歴史、場所、人物、ものなど、あいうえお順で検索できます。(★★★)

『郷土人物文献データベース』

(鳥取県立図書館ホームページ)

<https://www.library.pref.tottori.jp/wini/opac/search-local.do?lang=ja>

鳥取県立図書館ホームページから閲覧できる無料のデータベースです。調べたい鳥取県の人物に関するキーワードを入力すると、その人物の概略と、どの文献に掲載されているかを知ることができる大変便利なデータベースです。

『とっとり女性史 戦後からの歩み』

(とっとり女性史編集委員会編 鳥取県 2006)

Y367トツ (2階郷土コーナー)

戦後の鳥取県の女性の動きや歴史がくわしく書かれた年表と、各分野で活躍された女性の方々の聞き書きがまとめられています。聞き書きは、くわしい内容をまとめた別冊『とっとり女性史 聞き書き集』上中下巻も発行されています。(★★)

8. 神社とお寺



『鳥取米子の神社ガイド豊福神巡り』

(須山倫史/著 アイティーエスジャパン 2020)

Y175/スヤ (2階郷土コーナー)

米子市内の神社庁で登録されている神社14社を紹介した一冊。各神社の祭神、由緒などがコンパクトにまとめてあります。(★★)

『改訂米子のふるさと散歩』(全5冊)

(米子市立山陰歴史館運営委員会 2012)

Y224ヨナ (2階ふるさと子どもコーナー)

米子市内の神社やお寺が多数掲載されています。(★★)

『鳥取県神社誌』

(鳥取県神職会 1934)

Y170/トツ (2階郷土コーナー)

鳥取県内に所在する神社が、地域ごとに分けられて紹介されています。巻末に索引あり。(★★★)

『新修鳥取県神社誌 因伯のみやしろ』

(鳥取県神社誌編纂委員会 2012)

Y170/イン (2階郷土コーナー)

鳥取県内に所在する神社が、東部・中部・西部の地域ごとに網羅されています。巻末に神社の歴史、祭神と信仰、神社建築、指定文化財、年表あり。(★★★)

『米子の神社～米子市指定有形文化財を中心』

(米子市立山陰歴史館 2017)

Y175/ヨナ (2階郷土コーナー)

平成29年に米子市立山陰歴史館で開催された「米子の神社」の出品資料図録です。米子市内の神社が写真付で紹介されています。(★★★)

『粟島神社』(全5冊)

(佐々木通 1998)

Y17/S9 (2階郷土コーナー)

粟島神社前宮司の佐々木通氏の遺稿集ともいうべき5冊です。粟島神社の由来、歴史などがまとめられています。(★★★)

『よなごのお寺』

(米子仏教会 1991)

Y18/Y4 (2階郷土コーナー)

米子市内にある各お寺とその歴史が紹介されています。(★★★)

『新修米子市史第2巻 近世』

(米子市編さん協議会 2004)

Y224/3f (2階米子市コーナー)

第二編近世米子の文化→第三章「宗教」(★★★)

『新修米子市史第5巻 民俗編』

(米子市編さん協議会 2000)

Y224/ヨナ (2階米子市コーナー)

第七章「人々の信仰」(★★★)

『改訂鳥取県伯耆三十三札所案内図』

(立花書院 2015)

Y186/トツ (2階郷土コーナー)

伯耆三十三札所観音霊場の一覧マップです。(★★★)

『山陰御朱印巡り』

(祝部大輔/編 2018)

Y170/ホウ (2階郷土コーナー)

出雲、伯耆の霊場と、鳥取県東部・中部・西部のお寺や神社の概略と写真、御朱印を豊富に掲載した1冊です。(★★★)

『市町村区分 全国寺院大観 下巻』

(全国寺院大観編纂委員会 1991)

R185/ゼン (2階参考コーナー)

全国市町村ごとにお寺の名称、所在地、宗派が掲載されています。鳥取県は下巻1554Pから掲載あり。(★★)

9.地名の由来



『鳥取県の地名』

(平凡社 1992)

Y29/N19 (2階鳥取県コーナー)

平凡社から出版された地名辞典です。地域ごとに地名が配列されています。巻末に行政区画変遷、石高一覧、難読地名一覧、索引あり。近世以前の地名を調べるときに便利です。(★★★)

『角川日本地名大辞典31 鳥取県』

(角川書店 1982)

092.9/K6-2 (2階鳥取県コーナー)

50音順に地名が配列されていて、調べやすい一冊です。巻頭に難読地名索引、巻末に小字一覧、市町村沿革表があります。明治以降の地名について調べるときにべんりです。(★★★)

『鳥取県の地名由来語源参考』

平成の地名』

(森納/著 2009)

Y290モリ (2階鳥取県コーナー)

上記2冊の地名辞典を参考にして、平成16年の米子市合併後につくられた、地名の由来をまとめた1冊です。合併後の地名もあわせて、50音順でしらべることができます。巻末に鳥取県の難読地名掲載。(★★★)

『因伯地名考』

(徳永 職男/著 1975)

092.9/T7-2 (2階鳥取県コーナー)

「ふるい地名」と「今の地名」の二部構成で、東部から西武にかけて地名の由来等が説明されています。(★★★)

10.鳥取県の民話



『新修米子市史第5巻 民俗編』

(米子市史編さん協議会/編 2000)

Y224/ヨナ (2階米子市コーナー)

米子に伝わる口承文芸、伝説、世間話、わらべ歌などが掲載されています。(★★★)

『米子の民話散歩』

(川上勉彦/著 2006)

Y38/K7-4 (2階郷土コーナー)

平成9年から17年まで、「広報よなご」に連載された米子の民話案内です。米子市内の民話を地域ごとに収集し、掲載されています。(★★)

『因幡伯耆の伝説』

(野津龍/著 1975)

Y38/K7-4 (2階郷土コーナー)

因幡の国、伯耆の国の項目に分かれ、鳥取県内の地域に伝わる代表的な伝説が掲載されています。米子市は「米子城の人柱」「歯がたの栗」「藤内狐と尻焼き川」「粟島の八尾比丘尼」「少彦那の神」の伝説が掲載されています。巻末に伝説の記念物や主人公その他の五十音順索引あり。著者による伝説記念物等の写真も掲載されています。(★★)

『日本の民話 山陰』

(川上勉彦・三原幸久/編 1978)

093.8/K7 (2階郷土コーナー)

「動物昔話」「昔がたり」「笑い話」の項目に分かれ、山陰の昔ばなしを語り手の方言そのままに収録。米子市で採集された昔話もいくつかあります。巻末に語り手紹介あり。(★★)

『さんいんの民話シリーズ』

ふるさとの民話』

(酒井董美/著 2015)

Y388/サカ (2階郷土コーナー)

約半世紀にわたって各地の古老をたずねて録音した民話を、方言で語られた話し言葉を尊重して文字化した民話集です。「山陰中央新報」に連載された「音読ふるさとの民話」を単行本にまとめたシリーズとして刊行されています。「鳥取県西部編Ⅰ」「Ⅱ」には、米子市内の話がたくさん収録されています。(★★★)

『中海の怪談』

(立花書院 2004)

Y38/N19 (2階郷土コーナー)

「中海の怪談」「中海の狐伝説」の2章立てで、米子市、安来市、松江市などを中心に伝わる怪伝説を集めた1冊です。米子市の伝説は「感応寺の晩鐘」「米子城の妖怪」「八尾比丘尼の話」「中海の海坊主」「藤助と狼の話」が掲載されています。伝説にまつわる神社や景観の写真も多数あります。(★★★)

『白野川の伝説』
(樺範之/編 1994)
Y38/Y9-2 (2階郷土コーナー)

「白野川の河童たち」「白野川の伝説」の2章立てで、白野川にまつわる伝説が網羅されています。全長80キロの白野川の周辺には、鬼、河童、大蛇など、様々な伝説が数多く残されています。(★★★)

『中海の民話』
(立花書院 2003)
Y38/N19 (2階郷土コーナー)

中海周辺に伝わる民話を資料や取材をもとに70話収集した1冊です。米子市は「加茂川の河童」「京橋のお地藏さん」など14話が掲載されています。(★★★)

『新版日本の民話61
鳥取の民話』
(稲田和子/編 2016)
Y388トツ (2階郷土コーナー)

1976年に発行された『鳥取の民話』の新版が出版されました。因幡地方と伯耆地方の章から成り、伯耆はおもに東伯郡、倉吉、日南町の民話が収録されています。(★★★)

『山陰の民話とわらべ歌
(改訂版)』
(酒井董美/著 2021)
Y388サカ (2階郷土コーナー)

著者が山陰両県の古老を訪ねて収集した民話とわらべ歌と、くわしい解説を収録した1冊です。米子市の民話では「八尾比丘尼」、わらべ歌では「サイの神さん十五日」が収録されています。2021年に発行された改訂版は、各民話に二次元バーコード(QRコード)を掲載。スマホで読み取ると、収録当時の伝承者の声を聴くことができるすばらしい1冊です。(★★)

『新山陰の民話とわらべ歌』
(酒井董美/著 2021)
Y388サカ (2階郷土コーナー)

『山陰の民話とわらべ歌』と同じ体裁で、別な話を歌を取り上げた1冊です。こちらも二次元バーコード(QRコード)付きで、当時収録された録音音声スマホで聴くことができます。米子市は「富山の薬売りの化け物退治」が収録されています。(★★)

『米子城にまつわる民話』
(川上通彦/著 1994)
Y224/S9/2 (2階米子城コーナー)

山陰歴史館が発行する米子城ブックレット第2巻です。米子城にまつわる民話が掲載されています。(★★)

『新修米子市史第5巻 民俗編』
(米子市編さん協議会 2000)
Y224/ヨナ (2階米子市コーナー)

「第十章 口承文芸」に、米子にまつわる民話が多数掲載されています。(★★)

「鳥取県立博物館データベース 民話・わらべ歌」
(鳥取県立博物館)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/264966.htm>

民話研究者の酒井董美さんが収集した鳥取県に伝わる民話・わらべ歌をあつめたデータベースです。テキストだけでなく、音声データも聞くことができます。東部・中部・西部ごとに民話、わらべ歌が収録されています。(★★)

11.お祭りと伝承行事



『鳥取県祭り歳時記』

(野津龍/著 1985)

093.8/N4-5 (2階郷土コーナー)

鳥取県内市町村の祭礼行事をくわしく紹介した1冊です。米子市は米子盆踊り、干燈籠、がいな祭り、米子素人歌舞伎が掲載されています。

(★★★)

『祭礼行事・鳥取県』

(高橋秀雄/編 1995)

Y38/T11-3 (2階郷土コーナー)

鳥取県内の祭礼行事と解説が、豊富な写真とともに掲載されています。米子は夜見町乙祭り、和田トンド、諏訪神社茅の輪くぐりが掲載されています。

(★★★)

『私たちたつたえる祭と伝統行事『ふるさと鳥取』』

(鳥取県民の日記念イベント実行委員会 2001)

Y38/T27 (2階郷土コーナー)

鳥取県内の祭りと伝統行事をカラー写真とともに紹介した1冊です。米子市は「米子の地藏盆」が掲載されています。(★★★)

『新修米子市史第5巻 民俗編』

(米子市編さん協議会 2000)

Y224/3f (2階米子市コーナー)

第六章「年中行事」(★★)

『米子がいな祭25周年記念誌』

(米子がいな祭25周年記念誌編集委員会 1999)

Y38/Y15 (2階郷土コーナー)

1974年から始まった米子がいな祭の25周年記念誌です。第1回～25回までの祭りのテーマ、写真、主なイベント内容が掲載されています。巻末にはがいな音頭の楽譜つきです。(★★)

『加茂川まつり35年のあゆみ』

(加茂川まつり実行委員会 2019)

Y224/カモ (2階米子市コーナー)

加茂川まつりの歴史、加茂川地蔵の紹介が掲載されています。スタンプラリーの地図も掲載あり。(★★★)

『(CD) 米子音頭・加茂川音頭・がいな音頭・皆生小唄・加茂川地蔵』

(米子市 2018)

Y/CD (2階郷土視聴見コーナー)

米子市役所文化振興課から提供していただいた音源を、米子市立図書館でまとめたCDです。がいな音頭をはじめ、米子に関係する歌や音楽をまとめています。貸出用CDもありますよ。(★)

12.戦争の記録



『その時、ここで
15年戦争と鳥取県』
(鳥取県教職員組合ほか/編 1996)
Y39/T10 (2階郷土コーナー)

ふりがなつきで、わかりやすく解説された鳥取県内の戦災記録。フィールドワーク用の手引き書として、東部・中部・西部の地域ごとに、掩体壕など、鳥取県内の戦争の爪跡が紹介されています。(★)

『日本の戦争遺跡 保存ガイド』
(戦争遺跡保存全国ネットワーク/編 平凡社2004)
Y390ニホ (2階郷土コーナー)

鳥取大山口列車銃撃跡、米子の掩体壕群について、くわしく掲載されています。(★★★)

『わたしたちのまちの20世紀』
(中浜地域史編さん委員会 2001)
Y225/N3 (2階米子市コーナー)

境港市中浜地区の歴史、美保海軍飛行場の記録が掲載されています。(★)

『戦後70年 鳥取と戦争
平成27年度企画展』
(鳥取県立博物館 2015)
Y391/トツ (2階郷土コーナー)

平成27年に開催された鳥取県立博物館の図録です。戦時中の県内の暮らし、戦争の記録、年表などが掲載されています。(★★)

『鳥取県の戦災記録』
(鳥取県の戦災を記録する会 1982)
0920/T3 (2階鳥取県コーナー)

玉栄丸爆発事故、大山口列車銃爆撃、山陰線列車、船舶銃爆撃、米子市とその周辺の戦災、終戦直前の記録が掲載されています。戦争を体験した方の証言をもとに書かれた記録集です。(★★★)

『悲しみは消えず』
(大山口列車空襲被災者の会 1992)
Y68/D1 (2階郷土コーナー)

大山口列車空襲被災者の会発行の、大山口列車空襲被災の記録です。(★★★)

『玉栄丸追悼五十周年誌』
(境港市 1995)

Y225/S3-6 (2階郷土コーナー)

山陰で最大の戦争災害といわれる玉栄丸の爆発事故の記録です。
(★★★)

『た・ま・え・ま・る～山陰最大の戦災
75年目の真実』

(根平雄一郎/著・発行 2020)

Y225ネヒ (2階郷土コーナー)

玉栄丸爆発事件から75年をむかえた2020年に発行されました。玉栄丸爆発事故はなぜ起こったのか？ 当時の写真や証言をふりかえり、事件の真相に迫ります。(★★★)

13.大山について



『大山日本遺産物語』

(吉島潤承/作 2017)

Y388ヨシ (2階ふるさと子どもコーナー)

大山の牛馬市や地蔵についてまとめた紙芝居を1冊の本にしたものです。大山の信仰や牛馬市について分かりやすいストーリーで書かれています。(★)

『(DVD) 国立公園大山 百科事典』

『大山物語』

(大山の美化を推進する会・大山の頂上を保護する会/編 2017)

Y/DVD-R (2階大山コーナー)

2016年に出版された国立公園指定80周年記念誌『国立公園大山』の増補版となる電子書籍です。大山の自然動植物、地形、気候などが詳しく記載されていて、大山の自然図鑑としても大変役立ちます。(★★)

『伯耆国・大山歴史読本』

(KADOKAWA 2018)

Y290/ホウ (2階大山コーナー)

KADOKAWA別冊歴史読本シリーズ12巻目として刊行された、大山特集です。神話、造山活動、歴史など、大山について幅広く網羅した1冊です。安綱とたたらについての考察も掲載されています。大山入門書にどうぞ。(★★)

『ENJOY! Mt.DAISEN』

『大山のあそびかた』

(今井出版 2018)

Y291/ダイ (2階大山コーナー)

大山のレジャーガイド、自然図鑑、歴史がつまった読みごたえのあるガイドブックです。大山保護運動の歩みや、牛馬市、大山信仰についても触れられています。(★★)

『大山・日野川・中海学テキストブック』

(大山・日野川・中海学テキストブック編集委員会

2009)

Y290/ダイ (2階米子市コーナー)

大山地域の自然と文化、観光について書かれた読みやすい1冊です。大山入門書にどうぞ。(★★)

『鳥取県歴史の道調査報告書
第十集 大山道』
(鳥取県教育委員会文化課 1991)
Y290/トツ (2階大山コーナー)

大山信仰の道、牛馬市の道として、重要な役割をはたしてきた大山道について研究された1冊です。民話や文化財、歴史についてもくわしく触れられています。(★★★)

『祈りの山大山 その歴史と自然』
(杉本良巳・鷺見寛之著 2012)
Y290/スギ (2階大山コーナー)

神話の時代から大山の歴史、自然、植物についてわかりやすく書かれた1冊です。(★★)

『大山探訪 自然へ愛を込めて』
(清水谷登/著 1991)
Y29/S3 (2階大山コーナー)

大山の歴史、植物、野鳥、地形地質、年中行事などを掲載した1冊です。(★★★)

『国立公園大山
～大山の頂上保護活動30年のあゆみ
大山の美化活動40年のあゆみ～』
(大山の頂上を保護する会・大山の美化を推進する会
2016)
Y519/コク (2階大山コーナー)

昭和20年代～現在の大山の山頂と、保護活動の写真が掲載されています。保護活動の内容や活動年表、植生図鑑も掲載されています。(★★★)

14. 米子の写真



『目で見る米子・境港の100年』
(杉本良巳/監修 2000)
Y224/M3 (2階米子市コーナー)

明治時代から昭和、平成の鳥取県西部地震までの歴史が、写真と文章で紹介されています。(★★)

『ふるさとの思い出写真集
明治・大正・昭和 米子』
(松尾陽吉/編 1981)
0974/M3 (2階米子市コーナー)

全国各都市の明治・大正・昭和時代を貴重な写真と文章でつづる写真集シリーズの米子版です。(★★★)

『新修米子市史 資料編写真』13巻
(米子市史編さん協議会/編 1996)
Y224/ヨナ (2階米子市コーナー)

第一章「写真でつづる米子のあゆみ」では、明治から昭和にかけての米子の写真が、第二章では「米子の写真史」が掲載されています。(★★★)

『米子の歴史写真ライブラリ』CD-R
(JKKL地域活性化のための情報懇談会 2009)
CD-ROM (2階郷土視聴覚コーナー)

パソコンで見ることができる米子の写真集です。
米子の明治、大正、昭和の歴史的な写真300点以上が収められています。
地域ごと、年代ごとに探すことも可能です。(★★)

15.加茂川・日野川・米川



『温故知新25年のあゆみ』
(加茂川を美しくする運動連絡協議会/編 2001)
Y224/K11 (2階米子市コーナー)

加茂川の自然、文化、歴史、科学について掲載されています。
(★★★)

『加茂川流域の地域研究』
(米子商業高等学校郷土研究グループ/編 2001)
Y224/Y25 (2階米子市コーナー)

加茂川の歴史、景観、水運、水害、産業を写真や図を中心にまとめた1冊
です。(★★★)

『加茂川まつり-10年のあゆみ-』
(加茂川まつり実行委員会/編 1994)
Y224/K7 (2階米子市コーナー)

加茂川で毎年開催される賀茂川の第1回目～10回目までが紹介されてい
ます。昭和60年に日本海新聞で掲載された「加茂川夜話」も収録。
(★★★)

『加茂川まつり-35年のあゆみ-』
(加茂川まつり実行委員会/編 2019)
Y224/K7 (2階米子市コーナー)

2019年に発行された加茂川まつりのあゆみです。加茂川浄化のあゆ
み、加茂川まつりの歴史、日本遺産加茂川地蔵紹介、お地蔵さんスタ
ンプラリー、写真コンテストなどが掲載されています。(★★★)

『日野川の自然』
(藤島弘純/著 2000)
Y40/F1-2 (2階郷土コーナー)

日野川の自然、たたら製鉄、植物、鳥、魚、林について書かれていま
す。(★★★)

『鳥取県日野川の流路に関する
若干の考察』
(岩佐武彦/著 2016)
Y517/イワ (2階郷土コーナー)

度重なる洪水等で、日野川の流れや地形がどのように変わっていったの
かを研究した論文です。(★★★)

『日野川今昔写真集』

(立花書院 1999)

Y74/Y10 (2階郷土コーナー)

日野川すじの昔の写真集です。(★★★)

『日野川河川事務所のあゆみ』

(国土交通省 中国地方 整備局 日野川 河川事務所

2006)

Y45/H4 (2階郷土コーナー)

日野川流域の自然や歴史、文化などがまとめられています。洪水の歴史についても深く知ることができます。写真や図も豊富です。日野川のこ
とならまずこの一冊です。(★★★)

『大山・日野川・中海学テキストブック』

(大山・日野川・中海学テキストブック編集委員会

2009)

Y290/ダイ (2階米子市コーナー)

日野川の自然、文化、産業、観光について書かれています。ご当地検定
テキストにもなった1冊です。(★★)

『米川史(復刻版)』

(松本勲/著 1994)

Y51/M1-2 (2階米子市コーナー)

米川の起工から完工までを記録した米川史です。昭和29年に発行され、
ガリ版を切ってザラ紙に印刷された大変貴重な資料でした。利用する方
が多く、読みやすく活字に改めて1994年に復刻版が発行されました。
(★★★)

『米川史』

(米川土地改良区/編 1981)

Y51/Y3 (2階米子市コーナー)

弓ヶ浜半島の成立、農業開発、米川の歴史とその改良工事の経過が文章
を中心に掲載されています。(★★★)

『新開川の歴史』

(新開川土地改良区/編 2008)

Y517/シン (2階米子市コーナー)

新開川水利史、「記録両全之良策」復刻版、新開川改良工事概要が掲載
されています。(★★★)

『米子市土地改良史』

(米子市土地改良協会 2011)

Y614/ヨナ (2階郷土コーナー)

農業をするためには川から水を引かなければなりません。米子市の
「水」と「土」は先人たちによって切り拓かれていきました。その歴史
をたどります。(★★★)

『中国地方地域づくりと土木のあゆみ』

(中国建設弘済会 2007)

Y510チュ (2階郷土コーナー)

58p「『山陰の浪花』を水害から守ってきた堤防」として、宗像土手、
勝田土手、兼久堤防について掲載されています。ほかにも皆生海岸や米
川用水についても掲載あり。(★★)

16.鳥取県の災害



『新修米子市史 自然編 第6巻』
(米子市史編さん協議会/編 1997)
Y224/Y19/6 (2階米子市コーナー)

第3章「気象」、第4章「自然災害」として、鳥取県西部の気象災害、山陰の地震災害などが掲載されています。(★★★)

『平成12年鳥取県西部地震の記録』
(鳥取県 2000)
Y453/T2 (2階郷土コーナー)

県がまとめた西部地震の記録集です。(★★★)

『鳥取県西部地震記録集』
(米子市総務部総務課 2002)
Y369/Y5/2 (2階郷土コーナー)

米子市内の被害状況を記録した西部地震の記録集です。(★★★)

『鳥取県西部地震
日野町の災害・復興への記録』
(鳥取県西部地震一周年事業実行委員会 2001)
Y369/T21 (2階郷土コーナー)

日野町の西部地震の記録集です。(★★★)

『鳥取県西部地震の概要と検証』
(西部地震活動記録部会 2000)
Y453/T1 (2階郷土コーナー)

西部地震の概要と、消防の活動の検証記録です。(★★★)

『米子災害略史』
(船越元四郎/著 1983)
092.24/F2 (2階米子市コーナー)

昭和58年に発行された米子市の火災と水害の歴史をまとめた1冊です。元亀2年(1571)～昭和50年代の災害の歴史を時系列にたどることができます。(★★★)

『その昔大地震があった』
(橋本巖/著 2013)
Y453/Hシ (2階郷土コーナー)

昭和18年の鳥取地震の概要をまとめた1冊です。(★★★)

『鳥取大災害史
水害・震災・大火からの復興』
(横山展宏/著 2012)
Y369/ヨコ (2階郷土コーナー)

平成24年に鳥取市歴史博物館で行われた企画展の図録です。鳥取県内でおこった水害、地震、大火の記録集で、写真も豊富に掲載されています。巻末に鳥取災害年表あり。(★★★)

『鳥取大地震・西部地震・中部地震
-被災から復興への記録-』
(鳥取県立公文書館/編 2017)
Y369/トッ (2階郷土コーナー)

2017年に鳥取県内各地で開催された公文書館巡回企画展のパンフレットです。鳥取大地震(1943)、西部地震(2000)、中部地震(2016)の被害や被災地の様子などの記録が15Pにわたってまとめられています。写真も豊富です。(★★★)

『米子市防災マップ(保存版)』
(米子市/編 2007)
Y369/ヨナ (2階郷土コーナー)

地震や風水害などの災害が発生したときに避難する場所や防災関係施設が掲載された1枚もののマップです。(★★)

『日野川河川事務所のあゆみ』
(国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所
2006)
Y45/H4 (2階郷土コーナー)

日野川流域の自然や歴史、文化などがまとめられています。洪水の歴史についても深く知ることができます。写真や図も豊富です。日野川のことならまずこの一冊です。(★★★)

『米子市・日吉津村洪水
ハザードマップ』
(米子市 総務部防災安全課 2019)
Y517ヨナ (2階郷土コーナー)

地震や、大雨などが降ったり、土砂災害がおこったりしたとき、どこで、どのような災害がおこるのかを予測した地図です。各地域の避難所や、防災情報もくわしく書かれています。米子市には、洪水、津波、土砂災害、地震、防災の5つのマップがあります。(★★)

「鳥取地方気象台ホームページ」
<https://www.jma-net.go.jp/tottori/>

毎日の鳥取県の天気はもちろん、過去の天気や災害についてもくわしく知ることができるサイトです。キッズページでは地球温暖化や大雨、地震津波などについてやさしく解説してあります。(★)

『鳥取県原子力防災ハンドブック』
(鳥取県危機管理原子力安全対策課 2022)
Y539トッ (2階郷土コーナー)

方が一原子力事故が起こったら?を想定し、避難経路マップ、放射線の基礎知識、避難先一覧など、どうやって身を守るのかを知ることができる一冊です。毎年発行されています。(★★)

17. 人権学習



『いのち輝く』
(米子市教育委員会同和教育課/編 1995)
Y37/Y18-9 (2階郷土コーナー)

米子市教育委員会が発行した同和人権学習のための冊子です。米子市の「人権尊重都市宣言」が掲載されています。(★)

『**人権作文・標語集 よなご**』
(米子市教育委員会/編 1979～)
Y37/Y18 (2階郷土コーナー)

昭和54年から現在まで発行されている、米子市の小中学生の人権作文と標語集をまとめた冊子です。(★)

『**研究紀要 解放研究とっとり**』
(鳥取県部落解放研究所 1999～)
Y36/T17-4 (2階郷土コーナー)

1986年に創設された「鳥取県部落解放研究会」が発行する研究紀要です。部落史、部落解放研究、部落解放運動、部落の民俗に関する論文が掲載されています。現在21号まで発行されています。(2021.7時点)
(★★★)

『**春のおとずれ 退職勸奨の男女差別撤廃訴訟の闘い**』
(西山由香子著 中一夫 2016)
Y367ニシ (2階郷土コーナー)

かつての鳥取県の公立学校の女性教師は、女性というだけで早く仕事をやめさせられたり、退職金が男性の先生に比べて少なかったりするなど、大きな男女差別を受けていました。この差別をなくすために、3人の女性教師が立ち上がり、鳥取県を相手に訴訟を起こしました。裁判の結果は勝訴で、この判例は全国の男女差別撤廃運動にも大きな影響をあたえました。その軌跡をたどる1冊です。(★★★)

『**ととりの女性史 戦後からの歩み**』
(ととりの女性史編集委員会編 鳥取県 2006)
Y367トツ (2階郷土コーナー)

戦後の鳥取県の女性の動きや歴史がくわしく書かれた年表と、各分野で活躍された女性の方々の聞き書きがまとめられています。聞き書きは、くわしい内容をまとめた別冊『ととりの女性史 聞き書き集』上中下巻も発行されています。(★★)

18.自然



『**レッドデータブックとっとり**』
動物編/植物編
(鳥取県自然環境調査研究会 2002)
Y462/T1 (2階郷土コーナー)

鳥取県内で、絶滅のおそれのある野生動植物が掲載されています。
(★★★)

『**改訂版 鳥取の理科ものがたり**』
(鳥取県理科教育研究会 1992)
Y40/T3 (2階ふるさと子どもコーナー)

砂丘、大山、県内の動物と植物、水鳥公園、たたら製鉄、20世紀梨、県内天然記念物の紹介が掲載されています。(★)

『**新修米子市史 自然編 第6巻**』
(米子市史編さん協議会/編 1997)
Y224/Y19/6 (2階米子市コーナー)

米子市の気象災害や、水鳥公園完成までの経緯、中海の生き物など掲載されています。(★★★)

『米子水鳥公園の生態系と野鳥図鑑』
(上野智美/編 2015)
Y488/ヨナ (2階ふるさと子どもコーナー)

水鳥公園にやってくる野鳥の図鑑と、中海の汽水湖としてのしくみや、歴史が掲載されています。(★)

『オオサンショウウオ』

(福田幸広/写真 2014)
Y487フク (2階ふるさと子どもコーナー)

鳥取県日南町に生息するオオサンショウウオの写真をまとめた絵本です。生きた化石といわれる貴重な生物をとらえた貴重な写真が掲載されています。(★)

『宍道湖と中海の魚たち』

(中村幹雄/監修 2007)
Y487シン (2階郷土コーナー)

宍道湖・中海に住む生き物を紹介するガイドブックです。魚や貝、エビなどその特徴、料理の方法が掲載されています。ながめるだけでも楽しいですよ(★★)

『とっどりのさかな百選』

(第31回全国豊かな海づくり大会鳥取県実行委員会事務局 2011)
Y664トゥ (2階郷土コーナー)

鳥取県の海にすむ魚の図鑑です。名前の由来から、すむ場所、水揚げ量、調理方法など、わかりやすく掲載されています。(★★)

『ゴビウスと水の生きものたちのガイドブック』

(島根県立宍道湖自然館ゴビウス 2011)
Y480ホシ (2階ふるさとこどもコーナー)

ゴビウス開館10周年を記念してつくられたガイドブックです。汽水湖の環境は年々大きく変化しています。豊かな生き物を守るため、どんな生きものが私たちのすぐ近くにすんでいるのか、その役割や生態について知ることができます。(★★)

『ゴビウス・スタディ第1集・2集』

(島根県立宍道湖自然館ゴビウス 2004)
Y480ホシ (2階ふるさとこどもコーナー)

ゴビウスの水槽の中をさらに深く知ることができる解説書。ゴビウスで発行された「ゴビウス・スタディ」1号～100号をまとめた冊子です。展示の担当者のあつい思いがこめられています。第1集はおもに水の生きものの生態について、第2集は生きものの調べ方、育て方、木や鳥のウォッチング方法も掲載されています。夏休みの自由研究にも大きな力となってくれる2冊です。ぜひ読んでみてください。(★)

19.環境問題



『なかうみ環境新聞“中海”』

(彦名地区環境をよくする会 2004)
Y519/H2 (2階郷土コーナー)

よごれた中海をきれいにするため、さまざまな活動がおこなわれてきた記録集です。どうすればきれいな河や海を守れるのか？その市民活動のすべてが掲載されています。100号記念誌と200号記念誌の2冊があります。(★★★)

『調べよう！みんなで中海1・2』

(美しい中海を守る住民会議/編 1997)
Y519/U2/1・2(2階郷土コーナー)

「中海の漁師および研究者からの聞き取り」と、「本庄水域の生き物たち他」の2分冊からなる資料です。1995～1997年にかけておこなわれた中海研究の活動記録集です。(★★)

『米子の下水道』

(米子市/編 2009)

Y518/ヨナ (2階郷土コーナー)

米子市の下水道の役割やしくみを、絵や図をつかってわかりやすく解説した資料です。(★)

『森の恵み おいしい水への誘い 鳥取』

(祝部大輔/編著 2018)

Y518/ヨナ (2階郷土コーナー)

2010年に発行された『おいしい水の郷鳥取』から8年、さらに調査を重ねて刊行された1冊です。名水といわれる鳥取県内の水、米子市内の井戸などについてくわしく掲載されています。(★★★)

『鳥取県環境白書』

(鳥取県生活環境部環境立県推進課 1999～)

Y519/T1-2 (2階郷土コーナー)

鳥取県が毎年発行する、鳥取県内の環境データです。昭和47年から発行されていますが、米子市立図書館には平成11年から数冊あります。現在は鳥取県のホームページですべて閲覧することができます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/hakusho/> (★★★)

『鳥取県海洋環境・水産資源レポート』

(鳥取県水産試験場 鳥取県栽培漁業センター)

2021)

Y660トッ (2階郷土コーナー)

「これ一冊で鳥取の海と魚がどうなっているかわかります！」と表紙に書いてあるとおり、鳥取県の海でどんな魚が水揚げされているのか、その量と資源状況が魚の種類ごとに記載されています。毎年発行。鳥取県の海の特徴も紹介あり。(★★)

20.郷土料理と特産品



『とっとりO美味しい』

(とっとりO美味しい刊行会 2002)

Y59/T7 (2階郷土コーナー)

鳥取県内の特産、食材が網羅された1冊です。レシピやお店の情報も掲載されています。(★★)

『ととりの旬の料理 地産地消でおいしい食卓』

(鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓課 2005)

Y59/T9 (2階郷土コーナー)

鳥取県の地産地消の食材を活かしたレシピ集です。(★★)

『鳥取県白ねぎ沿革史』

(鳥取県農業協同組合連合会 1997)

Y62/T10-2 (2階郷土コーナー)

弓浜農業の変遷が時系列に書かれています。白ねぎ栽培の変遷年表、鳥取県市町村別ねぎ生産統計(昭和23～平成8年)の掲載あり。

このほか、『鳥取県ぶどう沿革史』『鳥取県柿沿革史』『鳥取県すいか沿革史』があります。(★★★)

『魚油とマイワシ』

(松下七郎/著 1991)

Y62/M2 (2階郷土コーナー)

第7章「山陰のマイワシ」が掲載されています。戦前から戦後のマイワシ漁業について分かります。(★★★)

『アジア浪漫紀行梨の来た道』

(梨の来た道編集委員会/企画 2001)

Y62/M2 (2階郷土コーナー)

鳥取二十世紀梨記念館が発行した、日本梨のルーツや二十世紀梨の歴史がわかる1冊です。(★★★)

『鳥取県海洋環境・水産資源レポート』

(鳥取県水産試験場 鳥取県栽培漁業センター

2020)

Y660トッ (2階郷土コーナー)

「これ一冊で鳥取の海と魚がどうなっているかわかります！」と表紙に書いてあるとおり、鳥取県の海でどんな魚がとれるのか、どんな漁法で、どのくらいの水揚量なのか分かります。(★★)

21.方言について



『鳥取県方言辞典』

(森下喜一/編 1999)

Y818/トッ (2階郷土コーナー)

鳥取県内で使われている方言を収録した辞典です。(★★★)

『弓浜地方方言集』

(浜田正善/著 1980)

098.8/H2 (2階郷土コーナー)

弓ヶ浜地域の方言を収録した一冊です。方言と発音、意味、語源、用例が掲載されています。(★★★)

『鳥取県のことば』

(平山輝男/編 1998)

Y88/H5 (2階郷土コーナー)

鳥取県内地域の方言の歴史や特性が掲載されています。鳥取市で調査された方言基礎語彙も収録されています。(★★★)

『米子弁講座』

(岡本清/著 2002)

Y88/O4 (2階郷土コーナー)

米子弁の成り立ちや特質、米子弁辞典が収録されています。(★★★)

『米子ことば-訛りの分析-』

(田総武光/著 1990)

Y88/T3 (2階郷土コーナー)

米子方言の実例や、発音の分析などが掲載されています。(★★★)

22. 遺跡について



『体感！むきばんだおもしろ発見 学習ノート』

(鳥取県教育委員会/編 2012)

Y223/タイ (2階ふるさと子どもコーナー)

妻木晩田遺跡で体験できる活動をまとめた1冊です。弥生時代の豆知識も掲載。(★)

『ドキュメント海と山の王国 鳥取県妻木晩田遺跡群』

(佐古和枝/編 1998)

Y223/S11-2 (2階ふるさと子どもコーナー)

妻木晩田遺跡群についてわかりやすく解説されたパンフレットです。妻木晩田遺跡を知るならまずはこの1冊からどうぞ。(★)

『甦る弥生の国邑 妻木晩田遺跡(改訂版)』

(鳥取県妻木晩田遺跡史跡公園/編 2015)

Y223/トツ (2階郷土コーナー)

2012年に発行された冊子の改訂版です。妻木晩田遺跡発見～調査までの年表、村の様子や弥生時代当時の暮らし、墳丘墓まで、カラー図解でわかりやすく解説されています。(★★)

『日本海を望む『倭の国邑』 妻木晩田遺跡』

(濱田竜彦/著 2016)

Y223/ハマ (2階郷土コーナー)

シリーズ「遺跡を学ぶ」の1冊。妻木晩田遺跡の発見から、弥生時代集落のはじまりとその終焉までがわかりやすくまとめてあります。(★★★)

『むきばんだ弥生の王国』

(鳥取県立博物館/編 2000)

Y223/T8 (2階郷土コーナー)

鳥取県立博物館で2000年に開催された展示図録です。弥生時代の年表と、発掘写真が多数掲載されています。(★★)

『弥生時代からのメッセージ 最新成果で語る鳥取の弥生文化』

(鳥取県教育委員会/編 2003)

Y20/T11-4 (2階郷土コーナー)

妻木晩田遺跡のほか、青谷上寺地遺跡、県内の弥生時代遺跡が掲載されています。写真も豊富で弥生時代についてわかりやすく学べる1冊です。(★★)

『とっとりの史跡めぐり』
(鳥取県文化観光局文化振興課/編 2003)
Y20/T11-5 (2階郷土コーナー)

福市遺跡、青木遺跡、妻木晩田遺跡、上淀廃寺跡、青谷上寺地遺跡ほか、県内の遺跡を紹介した1冊です。とっとりの史跡年表つきです。
(★★)

『山陰の弥生時代
山陰史跡ガイドブック第3巻』
(史跡整備ネットワーク会議事務局/編 2014)
Y200/サン (2階郷土コーナー)

山陰の弥生遺跡をコンパクトに紹介した冊子です。そのほか、史跡ガイドブックとして5巻まで刊行されています。(★★)

23.たたら製鉄



『たたら製鉄の手びき』
(鉄の道文化圏推進協議会編 2006)
Y564/タタ (2階郷土コーナー)

安来にある和銅博物館の資料を中心に、たたらとは何か？どこでどうやって作られたのか？がわかりやすく解説されたブックレットです。
(★)

『アイゼン-鉄の歴史村入門編』
(鉄の歴史村地域振興事業団文化事業部学芸文化課
1993)
Y56/T6 (2階郷土コーナー)

島根県にある吉田村は鉄の歴史村とよばれています。たたら製鉄で吉田村がどのように発展していったのか、その歴史やたたらについてわかりやすく書かれています。(★)

『たたらAtoZ』
(伯耆国たたら顕彰会 2013)
Y564/タタ (2階郷土コーナー)

鳥取県西部にある奥日野は、かつてたたら製鉄がとてもさかんでした。その歴史とたたら製法まで、くわしく解説されたブックレットです。
(★★)

『鉄 秘められた鉄の歴史』
(三柳屋彦吉 2015)
Y564/ミツ (2階郷土コーナー)

かつてたたら製鉄は、山陰の田部家や糸原家など、巨大な民間企業が経営していました。当時、日本のたたら製鉄は世界トップクラスの品質で、大変貴重なものでした。山陰が日本経済にかかわる重要な地であったことが分かる1冊です。(★★★)

『鉄のまほろば』
(山陰中央新報社 2016)
Y564/テツ (2階郷土コーナー)

鉄の聖地である中国山地では、古来よりたたら製鉄が営まれてきました。出雲、石見、日野など、中国地方を代表する鉄の聖地を案内した1冊です。たたらとともに育まれた文化や歴史も解説されています。(★)

24.鳥取県の建築



『鳥取県近代建造物』

(鳥取県教育委員会 事務局 文化財課 2009)
Y521/トツ (2階郷土コーナー)

副題は「鳥取県の近代を支えた文化遺産」。近代建築は全国で実態調査が行われ、鳥取県では平成9年と17年に調査が行われました。これらの調査結果をもとにまとめられた1冊です。鳥取県東部、中部、西部ごとに近代建築がコンパクトに紹介されています。(★★)

『鳥取建築ノート』

(朝日新聞鳥取支局編 富士書店 1991)
Y52/A2 (2階郷土コーナー)

鳥取県東部、中部、西部ごとに主な建築物が紹介されています。西部地区は境港のお台場跡、赤レンガ(旧米子変電所)、大店ビル、旧火力発電所、旧岩井家呉店、米子市水道記念館、良善幼稚園、日野橋、公会堂などが掲載されています。(★★)

『鳥取建築探訪 県民の建物100選』

(鳥取県土木部建築課 1998)
Y52/K4/A (2階郷土コーナー)

県内各市町村、鳥取県建築士会から推薦された「県民の建物100選」を紹介した1冊です。カラー写真とともに近世～現代までの建物が掲載されています。(★★)

『米子の文化財』

(米子市教育委員会 2017)

Y709/ヨナ (2階ふるさと子どもコーナー)

旧淀江町と旧米子市が合併した翌年に発行され(2006年)、2017年に改訂版が発行されました。2017年3月までの国、県、市の指定文化財が掲載されています。旧米子市水源地旧ポンプ室、日野橋、坂口家住宅、後藤家住宅などが掲載されています。ふりがな付です。(★)

『中国地方地域づくりと土木のあゆみ』

(中国建設弘済会 2007)

Y510/チュ (2階郷土コーナー)

副題は「くらしを支えた叡智」。中国地方の人々が、古代から現代まで、どのように土木を行い、地域を創造していったのかをまとめた1冊です。現在の私たちの暮らしが、先人の大きな努力と苦勞によって支えられていることを実感します。鳥取県は因幡と伯耆に分けられ、それぞれ代表的な建築物や町並みなどが掲載されています。日野橋も登場します。(★★★)

『市民が選んだよなごの宝八十八』

(よなごの宝88選実行委員会 2012)

Y709/シミ (2階米子市コーナー)

2007年に有志が集まり、米子の宝を選ぶ実行委員会が立ち上がりました。米子の米にちなみ、八十八の市内の宝のような景色、場所、建築、石仏などを収集、紹介されています。米子のガイドブックとしても楽しめる読み心えのある一冊です。読むと米子をもっと好きになるかも!(★★)